

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 210-0801

住 所 川崎市川崎区鈴木町1番2号

氏 名 味の素ファインテクノ株式会社

代表取締役社長 真子玄迅 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例第11条第1項の規定により、次のとおり提出します

事業者の氏名 又は名称	味の素ファインテクノ株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎市川崎区鈴木町1番2号		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	16	化学工業
主たる事業 の内容	電子材料、機能材料の開発、製造、販売		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	2,659	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計画期間及び報告年度	2022 年度 ~ 2024 年度 (報告年度 2024 年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況 (第1、2、4号該当者等)

(1) 計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
	(2021年度)	(2022年度)	(2023年度)	(2024年度)	
排出量 (t-CO2)	(実) 3,272 (調) 3,272	(実) 3,989 (調) 3,989	(実) 3,987 (調) 3,987	(実) 3,884 (調) 3,884	(実) 4,250 (調) 4,250
削減率		(実) -21.9 % (調) -21.9 %	(実) -21.9 % (調) -21.9 %	(実) -18.7 % (調) -18.7 %	(実) -29.9 % (調) -29.9 %

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値 (任意記載)

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標とした値
	(2021年度)	(2022年度)	(2023年度)	(2024年度)	
排出量原単位等の値	0.1919	0.1558	0.1662	0.1066	0.2157
活動量の値	17,050	25,602	23,988	36,430	-
排出量原単位等の削減率		18.8 %	13.4 %	44.5 %	-12.4 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	2022年に研究棟を新設したためエネルギー使用量が大幅に増加した。しかし、他工場との生産バランス、売り上げ増加により排出量原単位は基準年度より低下した。				
第2年度	2022年に研究棟を新設、2023年は通年で稼働したためエネルギー使用量が増加した。コロナ禍の反動で主要製品の販売が減少したため、前年度より排出量原単位は増加したが、基準年度よりかは低下している。				
第3年度	2024年は生産量の増加や夏場の外気温上昇により、エネルギー使用量は増加した。しかし、売り上げが堅調に推移した為、前年度よりエネルギーの原単位は改善された。				
計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)			今後、増産や新規設備の導入等でエネルギー使用量の増加が見込まれているが、これに伴い、売り上げも増加予測の為、原単位は改善される見込みである。		
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)			空調機や冷凍機等をエネルギー効率の良いものに更新する。 夏場の期間に工場の稼働停止日を設定する。		

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況 (全社目標) (任意記載)

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

<p>計 画</p>	<p>古い空調設備などの更新を実施する。</p>	
<p>第1年度</p>	<p>工場3棟についてクリーンルーム用の空調設備を更新した。</p>	
<p>第2年度</p>	<p>研究棟クリーンルームの省エネ運転、コンプレッサー圧力調整を実施 場内照明のLED化 連休時のポンプ停止 夏季に生産停止日を設定</p>	
<p>第3年度</p>	<p>研究棟クリーンルームの省エネ運転、コンプレッサー圧力調整を実施 場内照明のLED化 連休時のポンプ停止 夏季に生産停止日を設定</p>	
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	<p>省エネ計画に沿って以下の取り組みを実施した。 ・古い冷凍機及び空調機を更新した。 ・夏季に生産停止日を設定</p>	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備		エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	
電気自動車等から建物等への給電設備		その他 ()	
EV、PHV、FCV		その他 ()	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	(1)事務用品はエコ商品を優先購入している。 (2)廃棄物の分別、減量を推進している。 (3)省エネルギーキャンペーンを実施している。 (4)環境教育による啓蒙活動を実施している。
第1年度	(1)事務用品はエコ商品を優先購入した。 (2)廃棄物の分別、減量を推進した。 (3)夏季休業を実施した。 (4)省エネルギーに関して周知した。
第2年度	(1)事務用品はエコ商品を優先購入した。 (2)廃棄物の分別、減量を推進した。 (3)夏季休業を実施した。 (4)省エネルギーに関して周知した。
第3年度	(1)事務用品はエコ商品を優先購入した。 (2)廃棄物の分別、減量を推進した。 (3)夏季休業を実施した。 (4)省エネルギーに関して周知した。

6 基準年度からのエネルギー起源CO₂の排出の量等の推移（1、2号該当者等）

(1) 事業者単位

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
エネルギー起源 CO ₂ 排出量	3,272 t-CO ₂	3,989 t-CO ₂	3,987 t-CO ₂	3,884 t-CO ₂
原油換算エネルギー 使用量	1,996 KL	2,419 KL	2,466 KL	2,659 KL
事業所の数	1	1	1	1

(2) 事業所等単位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
味の素ファンテクノ株式会社	川崎市川崎区鈴木町1番2号	3,272	3,989	3,987	3,884

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度